

(第6条関係)

事業計画書

事業名	子供の居場所からの発信による 地域ネットワーク構築事業
団体名	さくら広場の会

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	<p>近年、核家族化やひとり暮らし世帯の増加、価値観、生活習慣の多様化により、住民相互の交流は希薄化してきています。親戚や地域からの援助が得にくい場合には、子育て世代の親と子供双方にとって大きな心の負担になります。子育て中の親は孤独感を感じやすく、子供は家庭や学校以外で心置きなく話ができる機会が減った結果、支援や見守りが必要なケースの発見が遅れる場合があります。また高齢者も同様に、社会からの孤立が進んでいます。</p> <p>この状況を踏まえ、平成26年度に策定された「第2次松戸市地域福祉計画」の推進項目の一つとして掲げられた「地域での交流・ふれあいの場づくり」に対応する事業として、今まで子供の居場所を提供しつつ築いてきた児童やその保護者との「知縁」を発展させ、地域交流を通じて児童、保護者と地域の大人たちとの「地縁」を深めることが本事業のテーマです。</p>
事業の目的	<ul style="list-style-type: none">・親/子供たちと地域住民(特に高齢者や商店街)の交流を図り、ネットワークを形成していくことで、子供たちと地域の大人の皆さんとの間で、自然発生的な相互扶助が生まれ、地縁的な地域社会の教育力を向上させる。・地域の色々な方が、子供たちと関わることで、子供たちのコミュニケーション能力や自己肯定感の向上を目指す。
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>(1) 交流の為のきっかけ作り事業</p> <p>-1 <u>健康体操教室及びお茶会の実施</u>【対象：高齢者、参加費：無料】</p> <p>ボランティアに関心のない高齢者にもさくら広場を知ってもらう為に実施する。年2回開催。講師は外部にお願いする。開催場所はさくら広場と隣接のダンススタジオ。</p> <p>(2) ものづくりを通じて交流を図る事業</p> <p>-1 <u>工作教室①の実施</u>【対象：小学生主体(希望する高齢者含む)、参加費：300円程度】</p> <p>プラモデル、クラフトバンドなどを中心に幅広い年代が一緒に楽しめる工作教室を実施する。</p> <p>年8回開催。講師は希望する高齢者や保護者等が担当。開催場所はさくら広場。</p> <p>-2 <u>工作教室②の実施</u>【対象：高齢者主体(希望する小学生含む)、参加費：300円程度】</p> <p>専門家の講師による大人向け工作教室、興味を持つ子供たちも参加し、大人と一緒に工作を楽しむ。夏休み、冬休みに実施。布草履作り(予定)を年2回開催。講師は外部にお願いする。開催場所はさくら広場。</p> <p>-3 <u>地域をまきこんだ食育活動(地域食堂)</u>【対象：小学生～高齢者まで、参加費：無料】</p>

近隣の飲食店や地域住民と交流しながら食事を作り、皆と力を合わせて作った料理と一緒に食べる楽しみを経験する。年2回開催。開催場所はさくら広場。

(3) 共に学ぶ事業

-1 自然エネルギーと環境のワークショップ【対象：小学生～高齢者まで、参加費：無料】

自然エネルギーについて学びながら松戸市の環境問題について考えてもらう為に実施。

年1～2回開催。講師は大学教授（予約済み）。開催場所はさくら広場。

2 スケジュール

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月	広報・準備	飲食店への依頼・ちらし作成など
5月	工作教室①実施	さくら広場にて
6月	工作教室①実施 体操教室実施	さくら広場にて スタジオ/さくら広場（講師依頼）
7月	工作教室②実施 食育活動実施	さくら広場にて（講師依頼） さくら広場にて
8月	工作教室①実施 自然エネルギー-WS実施	さくら広場にて さくら広場にて（講師依頼）
9月	工作教室①実施 体操教室実施	さくら広場にて スタジオ/さくら広場（講師依頼）
10月	工作教室①実施 食育活動実施	さくら広場にて さくら広場にて
11月	工作教室①実施	さくら広場にて
12月	工作教室②実施	さくら広場にて（講師依頼）
1月	工作教室①実施	さくら広場にて
2月	工作教室①実施	さくら広場にて
3月	報告書作成	

既存の事業からステップアップする部分
※ステップアップ助成のみ

事業の目標

- ①体操教室を2回開催し、延べ30人の参加者を目標とする。
- ②工作教室を10回開催し、延べ100人の参加者を目標とする。
- ③地域との食育活動を2回開催し、延べ50人の参加者を目標とする。
- ④自然エネルギーと環境の勉強会を1回開催し、20人の参加を目標とする。

今後の展望

- ・高齢者にさくら広場に気軽に遊びに来ていただいで子供と話ができる関係性づくりを行い、さらに発展できれば親戚づきあいのように時々家にお邪魔できる信頼関係づくりの構築を目指しています。
- ・近隣の飲食店にさくら広場の子供食堂に参加いただくことで、将来経済的に困窮する家庭に当該店舗で食事ができるチケットを配るなどする、さくら広場型子供食堂のシステム作りを目指しています。

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 9,000	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 30,000	300円(参加料) * 100人(延べ人数)
	自己資金の合計額(A)	¥ 39,000	
市	市民活動助成金(B)	¥ 100,000	
合計額(C) = (A+B)		¥ 139,000	

【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 55,000	外部講師謝礼 10,000円*4回(体操教室/工作) 15,000円*1回(環境WS)
	消耗品費	¥ 20,540	プラモデル教室用 ニッパー・接着剤・塗料・塗料皿など
		¥ 10,000	クラフトバンド材料費 クラフト・バンドなど
	食糧費	¥ 3,000	体操教室のお茶代
		¥ 20,000	地域食堂補填材料費 10,000円*2回
	印刷製本費	¥ 12,500	チラシの印刷代 5円*500部*5種類
		¥ 1,000	ワークショップ配布資料 10円*5部*20人
	使用料及び賃借料	¥ 2,000	会場使用料(体操教室) 1,000円*1時間*2回
対象経費の合計(D)		¥ 124,040	
その他経費	交通費	¥ 14,960	会員の交通費 440円(往復)*2人*17回
	その他経費の合計(E)	¥ 14,960	
合計額(F) = (D+E)		¥ 139,000	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が対象となる経費(D)欄の90%以内、自己資金(A)欄が対象経費(D)欄の10%以上であること。
- 2 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。